鉄素材系

職種：溶解　　職務：配合計算・投入

【概要】

　　必要な化学成分を持つように原材料を適切に配合する仕事。

【仕事の内容】

鋳物の特性は、化学成分に大きく影響される。「配合計算」は溶解鋳造時の化学成分の増減を見込んで、目標成分の鋳物（製品）に必要な原材料の配合割合を計算する作業である。「投入」は計算によって割り出された目標成分に基づき、適切に材料を管理・投入する作業である。

【求められる経験・能力】

1. 入職に際して、経験や公的資格は特に必要とされないが、経験者採用の際は、当該業務における専門知識やスキル、資格等が問われることが多い。
2. 技能検定の資格（特級、１級、２級）を取得することで技能が社内で認められて地位が向上することが多い。転職時にも、資格保有者は有利である。
3. 鋳造業や鋳造製品、特に溶解作業やプロセスに対する興味や関心を持っていること、さらには溶解技法の技能向上への意欲を持っていることなどが挙げられる。

【関連する資格・検定等】

* 技能検定〔厚生労働省　職業能力開発促進法〕

鋳造（鋳鉄鋳物鋳造作業・鋳鋼鋳物鋳造作業）（特級・１級・２級）

金属溶解（鋳鉄キュポラ溶解作業・鋳鉄誘導炉溶解作業・鋳鋼アーク炉溶解作業・鋳鋼誘導炉溶解作業）（１級・２級）

* 労働安全衛生資格（作業主任者、免許等）、消防法の危険物取扱資格
* 特別教育を必要とする危険有害業務（労働安全衛生法59条3項、労働安全衛生規則36条）

　・一般社団法人日本鋳造協会認定　鋳造カレッジ（鋳造技士）

【厚生労働省編職業分類（小分類）との対応】

　５２１　製銑工、製鋼工

　５２３　鋳物製造工